

こんな活動です

支え、見守り、育てる、地域の力 「われら人よし 生き域 学校応援団」

熊本県人吉市

活動名

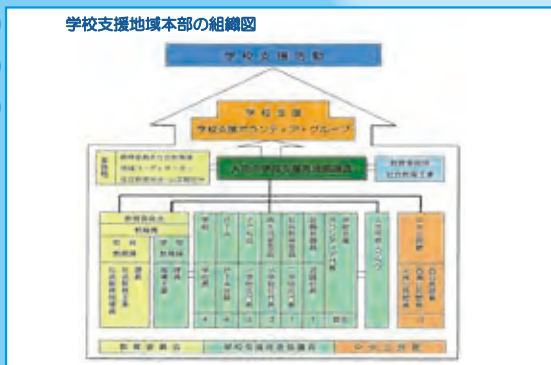
人吉市学校支援地域本部事業

関係する学校名

第二中学校、人吉西小学校、西瀬小学校、中原小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	地域未来塾	0人	2人	278人	有	20年度	有	無	無
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援	放課後児童クラブとの連携				
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数

体制図



活動の概要
本事業は、平成20年度に国の委託事業として立ち上がった。平成23年度からは県の補助事業として継続し、本年度で9年目を迎えている。学校支援地域本部を教育委員会、中央公民館（地域住民の生涯学習の視点から）、学校支援推進協議会（各団体等の代表者）で組織している。事業推進の中心主体である学校支援推進協議会には、これまでPTA・老人会等で行ってきた学校支援活動を大切に、共同支援体制を構築するため、その代表者も協議会委員として参入してもらった。現在は、学校教育活動の要請に基づく新しい領域の支援活動も活発化し、教科指導・学力充実・体験活動・農業生産活動・伝統文化継承・環境整備・安全見守り・部活動等、幅広い支援活動を展開中である。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 支援を主体的・継続的な活動として定着させるため、ボランティアのグループ化を進めている。現在、「安全確保」、「読み聞かせ」、「学力充実」などのグループがある。
- 既存の支援活動の関係団体と学校支援ボランティアとの共同支援（伝統芸能保存会、市環境課、農業委員会、地域協力者等）を積極的に進めている。
- 支援活動を広く知ってもらい、支援の輪を広げるため、支援活動の様子等を記載した学校支援だより「もやい」を年2回発行し、広報に努めている。
- 年に1回、ボランティア・学校関係者・保護者・その他地域住民等が会し「ボランティアの集い」を開催している。成果等を確認し、次につなげていくこととともに、学校支援活動を通して地域の横のつながり（コミュニティ）づくりを目的としている。

【実施に当たっての工夫】

- 学校支援ボランティアは登録制であり、登録時に提出する「登録申込書」には、自分ができる支援項目を記入してもらっている。これをもとに、地域コーディネーターが学校の支援要請内容に対応できるボランティアに依頼する形をとっている。
- 各学校に学校支援担当者を置き、地域コーディネーターとの連絡調整を行っている。学校の支援要請は担当者が電話するだけでなく、正確性を期するため、学校支援要請カード（SSカード）でコーディネーターへ依頼することとしている。

● 事業を実施しての効果・成果

本事業開始から9年目を迎え、学校支援活動は完全に定着したと言える。この間のボランティアの活動参加状況は、毎年のべ1000名を越えている。これは、ボランティア個々の熱意とともに、地域の中で子供を見守り育てるという意識・環境の広がりから起因しているものと思われる。また、学校支援活動は教育効果の高まりと共に教師・子供たちからの感謝の声も多く、ボランティア自身もボランティア同士の交流や子供たちとのふれあい、さらには感謝の言葉をもらい、支援の喜びや自己有用感を味わうことができている。さらに、子供の感謝の言葉には「僕は大きくなってから、人のためにできることをやりたいです。」とあり、副次的にボランティア自身の活動そのものが子供たちに社会の形成者としての資質や社会性を醸成していると言える。

● その他

学校の学力充実の時間、ピックアップした個別指導が必要な児童を、ボランティア（教職免許所有者中心）が丸付けをしながら指導する。



小学校生活科「昔遊び」支援（あやとり）の様子



中学校「読み聞かせ」支援の様子